

施策名：豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造

事業名	担当課・室名	ページ
おおいた生物多様性保全・普及啓発事業	生活環境企画課	2 / 8
おおいたジオパーク推進事業	生活環境企画課	3 / 8
自然環境保全・温泉資源適正利用推進事業	生活環境企画課	4 / 8
(公)海岸保全事業(河川)	河川課	5 / 8
(公)港湾環境整備事業	港湾課	6 / 8
県営都市公園里山利活用推進事業	公園・生活排水課	7 / 8
県営都市公園施設整備事業(県営都市公園施設整備事業)(県営都市公園長寿命化対策事業)	公園・生活排水課	8 / 8

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	おおいた生物多様性保全・普及啓発事業		事業期間	平成22年度～平成 年度	政策区分	恵まれた環境の未来への継承 ～おおいたうつくし作戦の推進～
					施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	生活環境企画課	評価者	自然保護推進室長 山崎 吉明

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	現代は「第6の大量絶滅時代」と言われ、生物多様性の危機が進行しているが、「生物多様性」という概念が県民に浸透していない。 開発等による土地利用の変化、里地里山の荒廃、外来種による生態系への被害、地球規模の環境変化の危機がある。	事業の目的	本県の有する豊かな自然や生物多様性の恵みを将来にわたり享受していくための体制づくりを推進する。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①絶滅危惧種の保護・外来生物対策 指定希少野生動植物等の保護活動を公募により実施(10種) 委託先：大分県山びり山ネットワーク ほか6団体 特定外来生物の駆除活動を実施(1種) 委託先：郷土日田の自然調査会 ②生物多様性の普及啓発 県民参加型のいきもの調査「いきものウォッチング」の実施(調査対象：21種) 委託先：宇佐自然と親しむ会 ほか3団体	・「いきものウォッチング」の事務局を自然保護団体に委託	総コスト	26,400	27,977	28,181
		事業費	6,400	7,977	8,181
		(うち一般財源)	1,698	1,922	4,781
		人件費	20,000	20,000	20,000
		職員数(人)	2.00	2.00	2.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題	
	大分県自然公園指導員数(人)	目標値		68	70	79			
実績値			78	79					
達成率			114.7%	112.9%					
絶滅危惧種保護活動事業実施団体数〔累計〕(団体)		目標値		15	20				
		実績値		16	23				
		達成率		106.7%	115.0%				

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	アライグマ防除計画 確認済み市町村数	目標値		14	17	17		
実績値			14	16				
達成率			100.0%	94.1%				

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・NPOと協働して希少野生動植物等の戦略的な保全を実施 ・特定外来生物が定着している地域において、地域で取り組む防除体制の構築を支援				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	おおいたジオパーク推進事業		事業期間	平成 23 年度～平成 年度		政策区分	恵まれた環境の未来への継承 ～おおいたうつくし作戦の推進～
				施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造		
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	生活環境企画課		評価者	自然保護推進室長 山崎 吉明

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	学術研究の充実や情報発信の強化、ガイドの養成・スキルアップへの対応等、日本ジオパーク認定の際に助言された課題の解決及び平成29年度の再認定審査に向けた体制や基盤整備が課題となっている。	事業の目的	本県に多数存在する学術的価値が高い貴重な地形・地質遺産を地域資源として活用するジオパーク活動を持続可能な取組とし、地域の活性化を図る。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容		事業実施年度における効率化の取組状況		コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①持続可能な取組のための基盤強化の推進 「おおいたジオ『うつくし』フォーラム」開催(12月19日) 委託先：(株)マイダスコミュニケーション ②地域資源(動植物)の調査 県内の貴重な動植物について悉皆調査を行い、天然記念物としての文化財的価値を検討 委託先：九州建設コンサルタント(株) ③ジオパーク推進協議会等への助成(おおいたジオパーク推進事業補助金：8,000千円) ジオシンポジウムの開催、ガイドのスキルアップ、拠点施設・解説板等整備 等		・フォーラムの開催を民間業者に委託	総コスト	38,004	39,000	40,000	
			事業費	18,004	19,000	20,000	
			(うち一般財源)				
			人件費	20,000	20,000	20,000	
			職員数(人)	2.00	2.00	2.00	

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	ジオシンポジウム等開催(回)	目標値		2	3	3		
実績値			2	3				
達成率			100.0%	100.0%				
ジオガイド養成講座開催(回)	目標値		20	28	28			
	実績値		28	28				
	達成率		140.0%	100.0%				

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	ジオガイドの活動数(延回)	目標値		12	30	48		
実績値			15	68				
達成率			125.0%	226.7%				

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- ・ 姫島村と豊後大野市のジオパーク活動を持続可能なものとするため、学術研究の支援や両地域が行う受入体制整備等の支援を実施
- ・ 学術研究者や地質愛好家等にジオパークの魅力を間断なく情報発信
- ・ 学術研究論文等募集などの事業については、平成28年度から段階的に市村へ移管予定

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	自然環境保全・温泉資源適正利用推進事業		事業期間	平成27年度～平成27年度		政策区分	恵まれた環境の未来への継承 ～おおいとうつくし作戦の推進～
				施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造		
総合評価	A	終了	事業実施課(室)名	生活環境企画課		評価者	自然保護推進室長 山崎 吉明

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	太陽光発電、地熱発電の開発計画が増加している中、開発地域における自然環境や温泉資源など環境に配慮した開発を行うために必要となる環境情報が不足している。	事業の目的	環境配慮型の開発を行うために必要な情報を整備・充実させるための調査を実施し、その結果を事業者等へ情報提供することで環境配慮型の開発を推進し、環境資源の有効利用と環境保全の両立を図る。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①環境地理情報システムの構築 環境配慮型の開発に必要な情報(自然公園区域や温泉規制図等)を提供するシステムを整備 委託先：パンフィックコンサルタンツ(株)大分事務所 ②環境配慮型の開発を行うための情報整備 地熱発電の有望地域における長期的な温泉のモニタリングの実施(別府3箇所、九重1箇所) 委託先：地熱ワールド工業(株)ほか 県指定希少野生動植物のモニタリング手法に係る調査 委託先：パンフィックコンサルタンツ(株)大分事務所		総コスト		35,801	
		事業費		25,801	
		(うち一般財源)		8,272	
		人件費		10,000	
		職員数(人)		1.00	

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(27年度)	評価	今後の課題
	温泉モニタリング実施箇所数(箇所)	目標値			4			
実績値				4		4		
達成率				100.0%		100.0%		
希少野生動植物生息調査数(種)	目標値			25		25		
	実績値			25		25		
	達成率			100.0%		100.0%		

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(27年度)	評価	事業の成果
	環境地理情報システムで提供する情報項目数(種類)	目標値			28			
実績値				28		28		
達成率				100.0%		100.0%		

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
--------	-----------	--------	--------	----

今後の事業方針

- ・地熱開発に有望な県内の温泉地をカバーするため、温泉モニタリング調査の実施場所を適時拡充
- ・今後、「希少野生動植物生息調査」「環境地理情報システム」は別事業において継続

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成27年度)

別紙2-9

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	(公) 海岸保全事業 (河川)	事業期間	昭和 31 年度～平成 年度		政策区分	恵まれた環境の未来への継承 ～おおいたうつくし作戦の推進～
			河川課	年度	施策区分	豊かな自然との共生と快適な地球環境の創造
総合評価		事業実施課 (室) 名	河川課		評価者	河川課長 廣瀬 啓二郎

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	近年、強い台風の来襲により越波や飛沫が発生し、海岸保全施設の被害および海岸に隣接した重要幹線道路の通行止め等が発生している。また、台風や集中豪雨により発生したごみや流木が漂着し、快適な海岸利用の支障となっている。	事業の目的	高潮 (うねり) からの防護及び、海岸利用に配慮した海岸保全施設の整備
-------	--	-------	-------------------------------------

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)
① (公) 海岸環境整備事業 安岐海岸 人工リーフ、緩傾斜護岸	既設の異形ブロックを流用することにより、コスト縮減を果たした。	総コスト	329,502	199,440	96,247
		事業費	329,502	199,440	96,247
		(うち一般財源)	21,593	11,993	6,577
		(うち繰越額)	40,578	37,002	18,975
		人件費			
		職員数 (人)			

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名 (単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果
	計画施設延長 (m)	目標値	13,286	13,286	13,286	13,286		
	実績値	13,033	13,110					
	達成率	98.1%	98.7%					

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成27年度)

別紙2-9

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	(公) 港湾環境整備事業	事業期間	平成 21 年度～平成 年度	政策区分	恵まれた環境の未来への継承～おおいたうつくし作戦の推進～
総合評価		事業実施課(室)名	港湾課	施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造
				評価者	港湾課長 梶原 文男

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	地域住民等が港湾や水に親しむことができる緑地等施設の整備率は依然として低い。また、近年は地域住民の環境保全に対する意識が高まっていることから、埋立に際しても環境に配慮した計画が求められている。	事業の目的	港湾区域内の環境を改善し、地域住民等の憩いの場として緑地等施設の整備を行うことで、港に賑わいを生み、地域住民等が港湾とふれあう場を提供する。
-------	--	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①(公) 港湾環境整備事業 別府港 緑地・用地	港湾環境整備事業(別府港)において、新たな交付金事業の活用による早期進捗を図った。	総コスト	118,404	74,489	479,978
		事業費	118,404	74,489	479,978
		(うち一般財源)	4,647	4,322	24,445
		(うち繰越額)	102,100		96,885
		人件費			
		職員数(人)			

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	港湾区域内の環境改善及び憩いの場として必要な緑地等施設の整備面積(ha)	目標値	45.5	45.5	45.5			
	実績値	24.5	24.5					
	達成率	53.8%	53.8%					

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成27年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	県営都市公園里山利活用推進事業		事業期間	平成26年度～平成	年度	政策区分	恵まれた環境の未来への継承～おおいとうつくし作戦の推進～
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	公園・生活排水課		施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造
						評価者	公園・生活排水課長 藤崎 裕司

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	大分スポーツ公園には里山が、ハーモニーパークには竹林があるが、県民に利活用されていない。	事業の目的	県営都市公園の里山や竹林を利活用し、県民の自然体験や環境学習等の機会を設け、県民参加による里山や竹林の再生の推進と自然環境保全への意識を醸成する。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①委託団体の公募 委託団体を県が公募(関係団体に郵送、県HPほか4HPに掲載) 委託先：(一財)日本造園修景協会大分県支部、NPO法人大分環境カウンセラー協会、NPO法人エー・ビー・シー野外教育センター、NPO法人やまもりの会 ②自然体験や環境学習の活動の実施 活動の企画・運営を受託団体が実施 (大分スポーツ公園 年9回、計400人程度の参加者募集) (ハーモニーパーク 年4回、計200人程度の参加者募集)	・雨天により大量のキャンセルが事前に見込まれた日には、数日前に再度出欠確認を行うことで対応し、目標参加人数を確保した。	総コスト	4,285	4,921	3,799
		事業費	2,285	2,921	1,799
		(うち一般財源)			
		人件費	2,000	2,000	2,000
		職員数(人)	0.20	0.20	0.20

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	大分スポーツ公園開催分「自然観察会、きのこの森づくり、木工クラブづくり」等参加申込総数(人)	目標値	200	400	400		a	・2公園各4回の申込総数は、定員600人に対して実績値1,496人と非常に好評 ・定員の1割増しを参加者として選定したが、開催日によっては想定を超えるキャンセル有 ※原因として考えられることは、申込みから実施日までの期間が長かったこと、実施日が連休の初日であったこと 等
	実績値	265	932					
	達成率	132.5%	233.0%					
ハーモニーパーク開催分「竹の食器作りと流しそうめん」「竹の楽器作り」等参加申込総数(人)	目標値	100	200					
	実績値	224	564					
	達成率	224.0%	282.0%					

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	大分スポーツ公園開催分 ハーモニーパーク開催分 参加人数(人) ※平成28年度からは大分スポーツ公園開催分のみ	目標値	300	600	400		a	より多くの県民に自然とのふれあいの機会を提供しその保全の意識の醸成等を図るために、参加人数目標値を平成26年度の2倍とし、ほぼ目標を達成できた。 参加者へのアンケートでは、2公園開催分全てにおいて満足度が高く、また参加したいという回答がほとんどであった。
	実績値	217	581					
	達成率	72.3%	96.8%					

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- ・ハーモニーパーク開催分については、指定管理者(株)サンリオエンターテイメントの事業として引き続き実施(平成28年度からは、本事業としては大分スポーツ公園だけで実施)
- ・参加予定者の決定については、キャンセル想定数の見直しや事業実施日の数日前に出欠確認を行うことで、より確実に参加人数を確保

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

別紙2-9

事業名	県営都市公園施設整備事業 (県営都市公園施設整備事業) (県営都市公園長寿命化対策事業)	事業期間	昭和 63 年度～平成 年度		政策区分	恵まれた環境の未来への継承～おおいとうつくし作戦の推進～
			事業実施課(室)名	公園・生活排水課	施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造
総合評価					評価者	公園・生活排水課長 藤崎 裕司

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	県営都市公園は建設から相当の期間が経過し、施設の老朽化が進んでいる。しかし利用者の公園に対するニーズは益々高まっており、快適で安全安心に利用できる公園の整備が求められている。	事業の目的	県営都市公園利用者の安全性、快適性の向上を図るため、施設整備を実施する。公園施設の安全性確保や施設の延命化、ライフサイクルコスト削減を目的に策定した『公園施設長寿命化計画』に基づき、更新時期を迎えた公園施設の計画的な更新を実施する。
-------	---	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
① 県営都市公園施設整備事業 大洲総合運動公園 他3公園施設補修等 硬式・軟式野球場グラウンド打起し、施設案内看板設置、歩道改修、階段改修等 ② (公) 県営都市公園長寿命化対策事業 大洲総合運動公園 他1公園施設更新等 駐車場整備、多目的広場整備、非常放送設備更新、トイレ改修		総コスト	109,447	171,007	562,229
		事業費	109,447	171,007	562,229
		(うち一般財源)	28,650	30,026	57,527
		(うち繰越額)		27,604	100,002
		人件費			
		職員数(人)			

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成年度	評価	事業の成果	
	施設利用者数(千人)	目標値		2,035	2,035	2,035			
		実績値		1,893	1,891				
		達成率		93.0%	92.9%				
a 昭和49年度に開設された大洲総合運動公園においては、前年度に撤去されたプール跡地を駐車場として利用するために工事を行った。また駐車場隣接地に、あらゆる世代のニーズに応えるため広場を整備したことにより、今後は施設利用者の増加がより一層見込まれる。									

[平成27年度実績]

(県営都市公園施設整備事業)

(単位：千円)

公園名	工種	実施工事費
大洲総合運動公園	園内放送設備設置(委託)、看板設置、硬式・軟式野球場グラウンド打起し、硬式野球場防球フェンス設置等	21,482
ハーモニーパーク	濃縮汚泥移送・排砂ポンプ取替え、歩道改修、遊歩道舗装補修、標識設置、進入路・駐車場・照明塔塗装	8,770
大分スポーツ公園	テニスコート周辺排水設置、屋内スポーツ施設費用対効果算出業務	5,702
高尾山自然公園	365歩の階段補修	3,441

(県営都市公園長寿命化対策事業【現年】)

(単位：千円)

公園名	工種	実施工事費
大洲総合運動公園	園内放送施設設置(工事)、テニスコート照明設計・改修、プール跡地整備	89,015
ハーモニーパーク	トイレ改修	14,991
大分スポーツ公園	アリーナ音響改修	2

(県営都市公園長寿命化対策事業【繰越】)

公園名	工種	実施工事費
大洲総合運動公園	プール跡地整備	8,704
ハーモニーパーク	トイレ改修	18,900